

# 体温測定AI顔認証サーマルカメラ 簡易マニュアル

---

P1	準備する
P2-3	Pサーマルカメラを使用する
P4	アラート設定温度を変更する
P5	初期設定
P6	詳細設定
P7	ライブビュー画面 ライブビュー画面の基本操作方法
P8	ライブ画像メニューの機能
P9	ライブ画像のパラメーター設定
P10	ディスプレイ逆光設定 サーモグラフィ画像の配色設定
P11	VCAルール表示の設定 点滅アラーム光出力の設定
P12	音声アラームの設定 測定距離の設定
P13-14	測定距離・アラーム温度の設定
P15-16	設置位置について
P17	ご注意

# 準備する

## 【系統図】

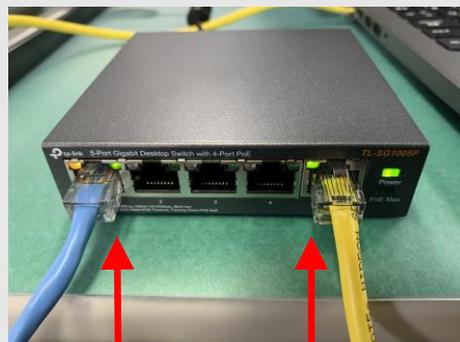


## 【接続】

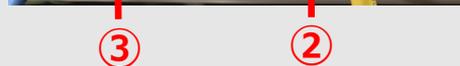
①パソコン左側方のLAN端子（RJ45）にLANケーブルを接続する。



②パソコンと接続したLANケーブルをPoeハブのポート5に接続する。



③Poeハブのいずれかの1ポート（1～4）にLANケーブルを接続する。



④Poeハブの1ポート（1～4）に接続したLANケーブルを、カメラから出ているLAN端子（RJ45）に接続する。



⑤PoeハブのコンセントをAC100Vへ接続し、電源を入れて下さい。

## 【設置】

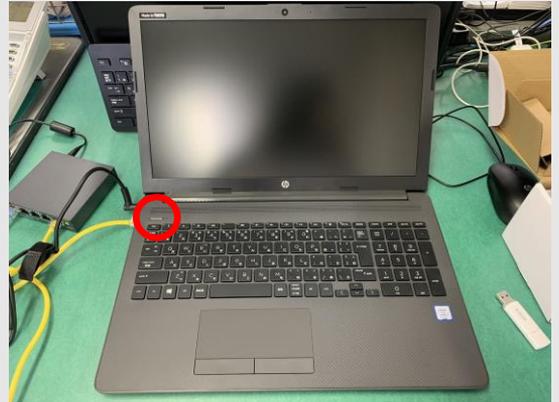
- ・設置は平坦で安全な場所に設置してください。
- ・設置推奨距離（対象人物とカメラ）：1.5m～3.0m

※上記以外の距離でも測定可能ですが、実際の温度と差異が生じます。

# サーマルカメラを使用する

- ①キーボード左上の電源ボタンを押し、  
パソコンの電源を入れる。

※ログイン画面が立ち上がりますので、  
安定するまでお待ちください。

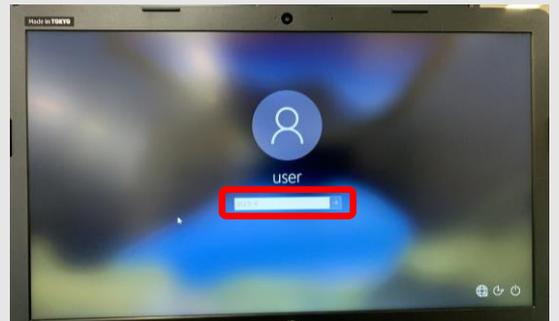


- ②パソコンのログイン画面が表示されますので、  
下記パスワードを入れてログインして下さい。

【アカウント名 : user】 ※入力不要

【パスワード : password】

※ログイン後、任意のパスワードに変更可能です。



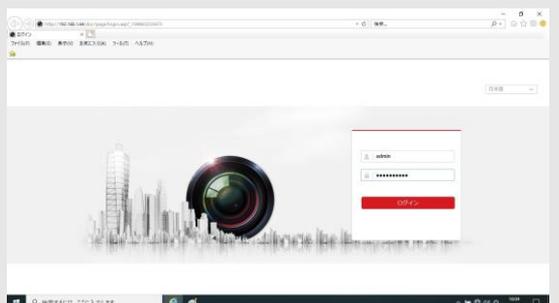
- ③デスクトップが立ち上がったら、  
「インターネット エクスプローラー」を  
ダブルクリックし立ち上げます。



- ④ブラウザにサーマルカメラのページ  
(デフォルト) が立ち上がりますので、  
ログイン名とパスワードを入れて下さい。

【アカウント名 : admin】

【パスワード : password01】



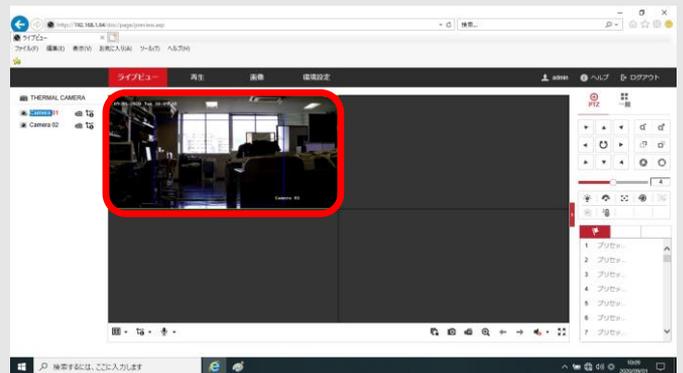
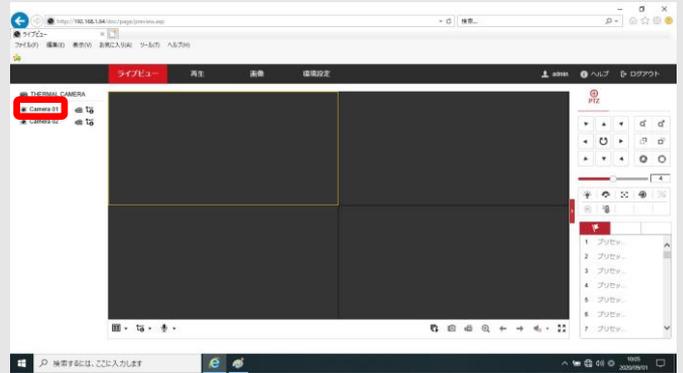
# サーマルカメラを使用する

- ⑤ライブビュー画面が開きますので、左の「Camera01」をダブルクリックして下さい。



カメラ1のライブ画面が開きます。

- ⑥カメラのライブ画面をダブルクリックすると全画面表示になります。



全画面表示



**この状態で青枠内に人が入ると自動で測定し、設定温度以上を検知した場合にカメラからアラートがなります。**

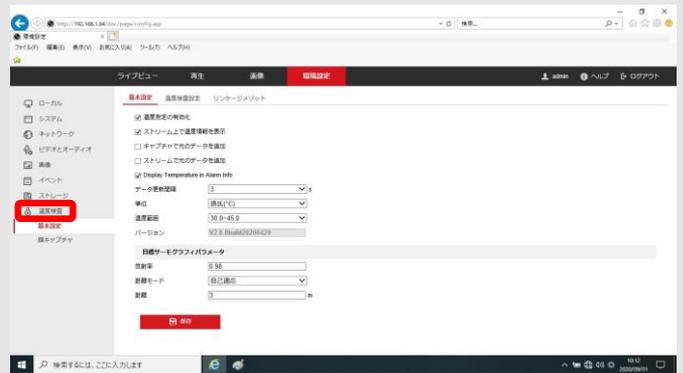
※カメラ電源投入直後は、正確な測定温度が表示されません。  
しばらくそのまま放置すると測定温度は落ち着きます。

# アラート設定温度を変更する

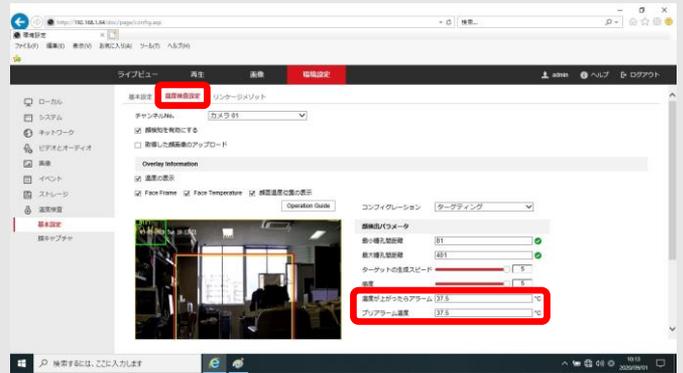
①ライブビュー画面の上部メニュー内「環境設定」をクリックします。



②左メニューの「温度検査」をクリックします。



③上部の「温度検査設定」をクリックします。



④検知したい温度を下記2カ所に入力してください。  
「温度が上がったらアラーム」  
「プリアラーム」



⑤「保存」すると設定完了です。

## 【IPアドレス】

パソコン : 192.168.1.100

カメラ : 192.168.1.64

※パソコンのIPアドレスは自動取得の場合、接続できません。

## 【ログイン情報/PC】

ユーザー名 : user

パスワード : password

## 【ログイン情報/カメラ】

ユーザー名 : admin

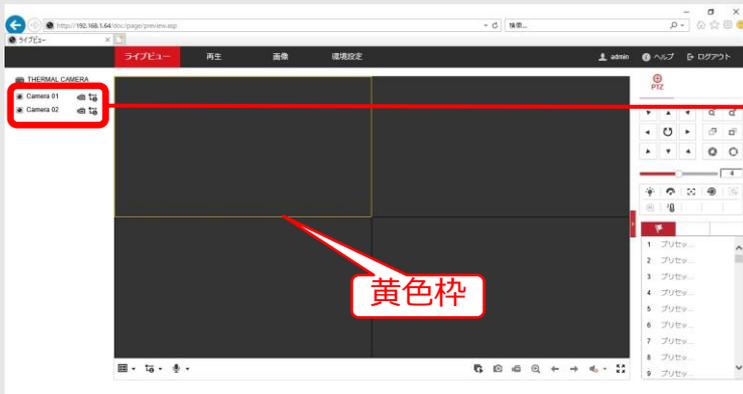
パスワード : password01

## 詳細設定

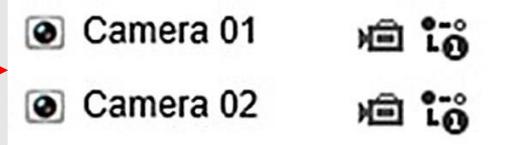
---

# 詳細設定

## ライブビュー画面



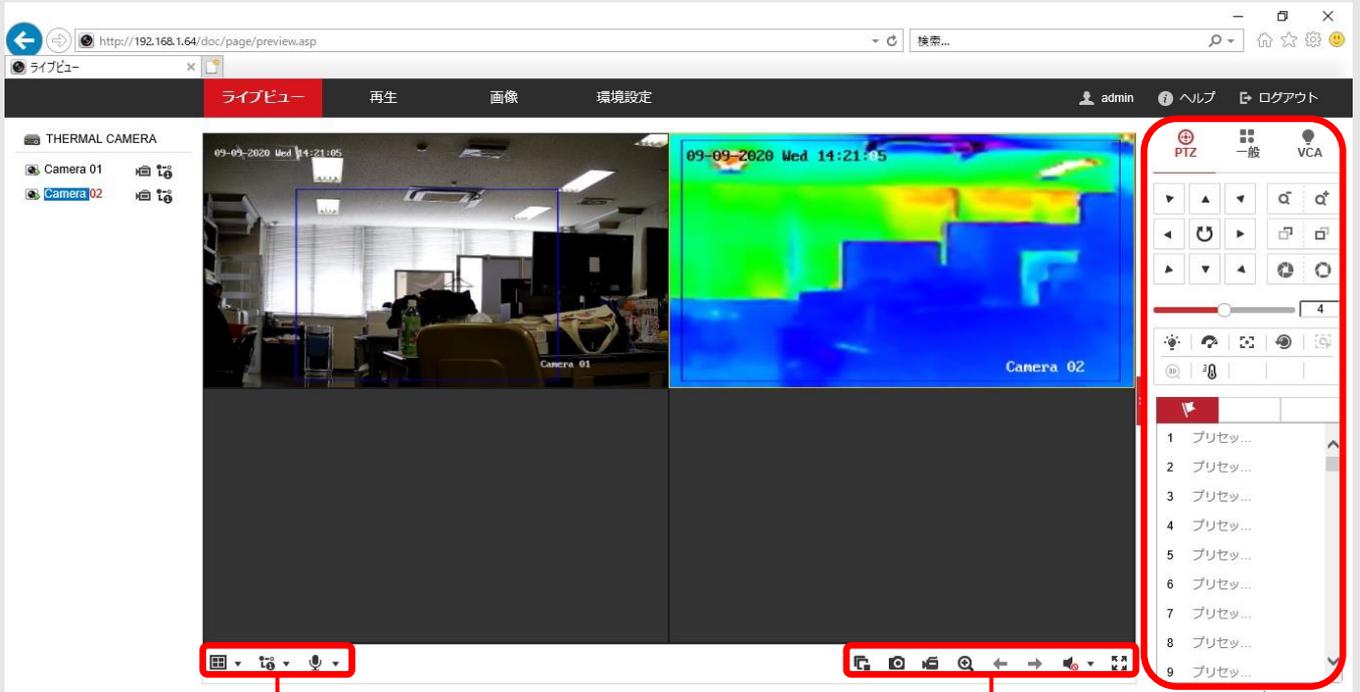
《拡大》



CAMERA01をダブルクリックすると、黄色の枠内に通常カメラ映像が表示されます。

CAMERA02をダブルクリックすると、黄色の枠内に赤外線カメラ映像が表示されます。

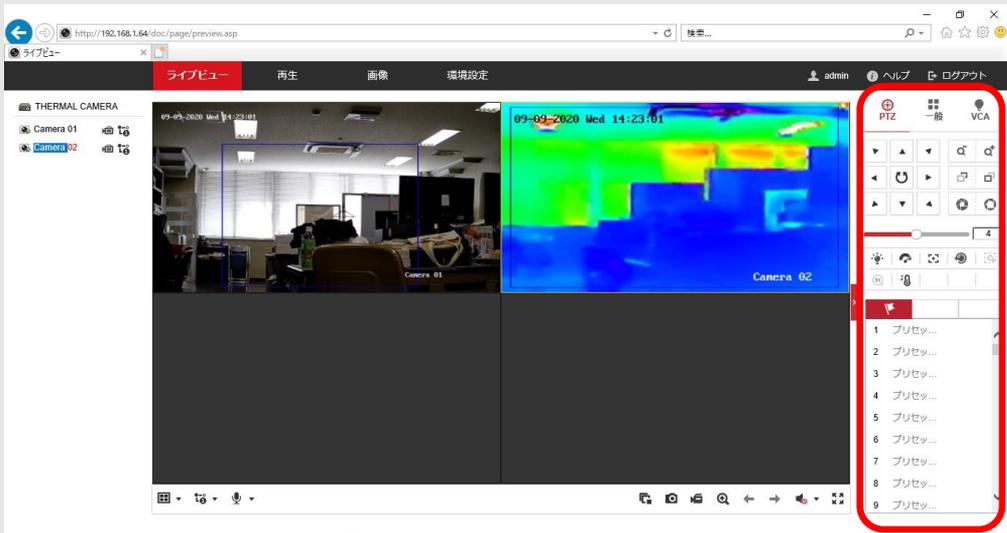
## ライブビュー画面の基本操作方法



P8参照

- ①画面分割選択：画面の分割数を1、2×2、3×3、4×4から選択できます。
- ②表示の開始/中止：ライブビュー画面表示ON/OFFを切り替えます。
- ③キャプチャー：選択した画面の映像をキャプチャーして画像を自動保存します。
- ④記録開始：画面の映像を記録します。  
 録画停止を押すと自動保存します。
- ⑤デジタルズーム：画面内で指定した範囲内を拡大表示します。

## ライブ画像メニューの機能



※PTZは使用出来ません

①映像の輝度、コントラスト、彩度、明度  
それぞれを0～100で設定できます。

②WDR：逆光補正のON/OFFを切り替えます。

③ワイド：カメラの露出を調整できます。

④ノイズ：映像のノイズを調整できます。

⑤各設定項目を初期値に戻します。

⑥表示名：✓を入れると映像にカメラ名を表示します。

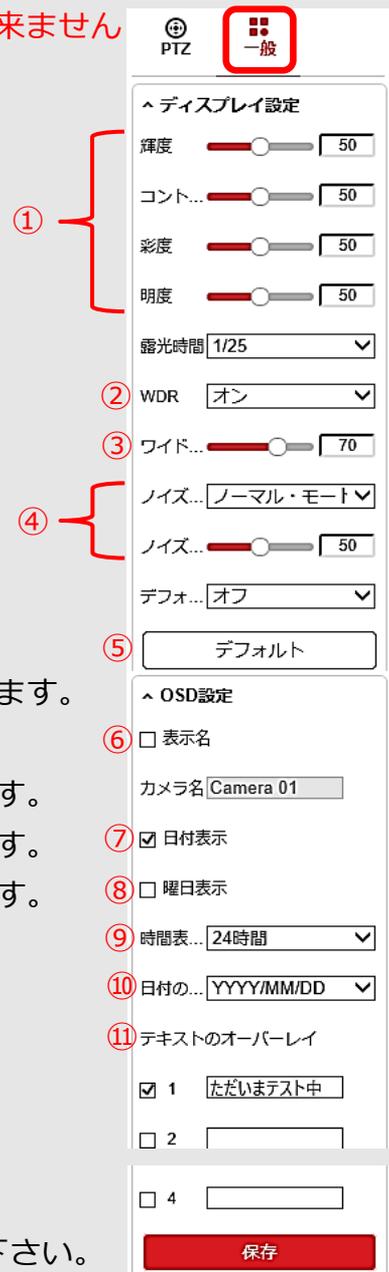
⑦日付表示：✓を入れると映像に日付を表示します。

⑧曜日表示：✓を入れると映像に曜日を表示します。

⑨時間表示：✓を入れると映像に時計を表示します。

⑩日付の表示切替をします。

⑪テキストのオーバーレイ：✓を入れると  
映像に入力したテキストを表示します。



設定後は必ず「保存」して下さい。

保存

# 詳細設定

## ライブ画像のパラメーター設定

◇画面操作手順：①環境設定 → ②ローカル



《拡大》

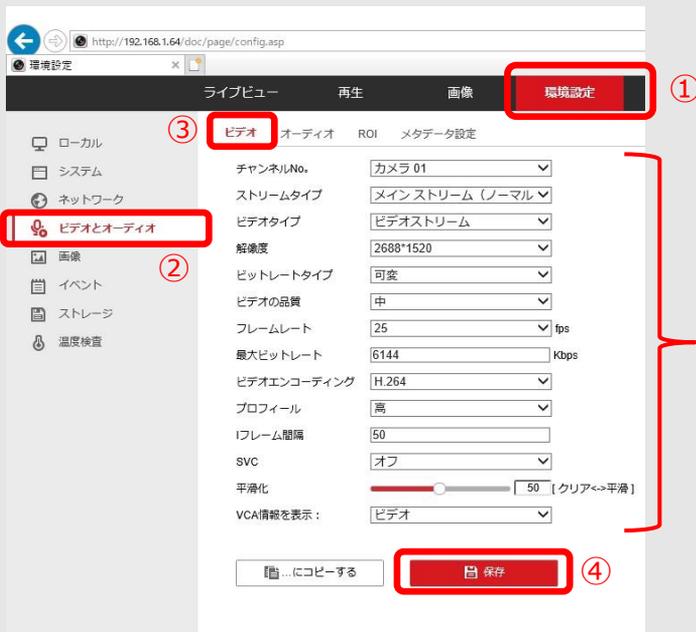
ルール	<input checked="" type="radio"/> 有効	<input type="radio"/> 無効
POS情報を表示	<input checked="" type="radio"/> 有効	<input type="radio"/> 無効
ライブビュー・オートス...	<input checked="" type="radio"/> Yes	<input type="radio"/> No
画像フォーマット	<input checked="" type="radio"/> JPEG	<input type="radio"/> BMP
キャブチャ上にルール情...	<input checked="" type="radio"/> Yes	<input type="radio"/> No
温度情報を表示	<input checked="" type="radio"/> Yes	<input type="radio"/> No
キャブチャで温度情報を...	<input checked="" type="radio"/> Yes	<input type="radio"/> No

上記の通り各項目を選択

録画データ等の保存先を設定します。

設定後は必ず「保存」して下さい。

◇画面操作手順：①環境設定 → ②ビデオとオーディオ → ビデオ



必要に応じて各項目の設定を変更できます。

チャンネルNOの選択で

カメラ01：通常映像

カメラ02：サーモグラフィ映像

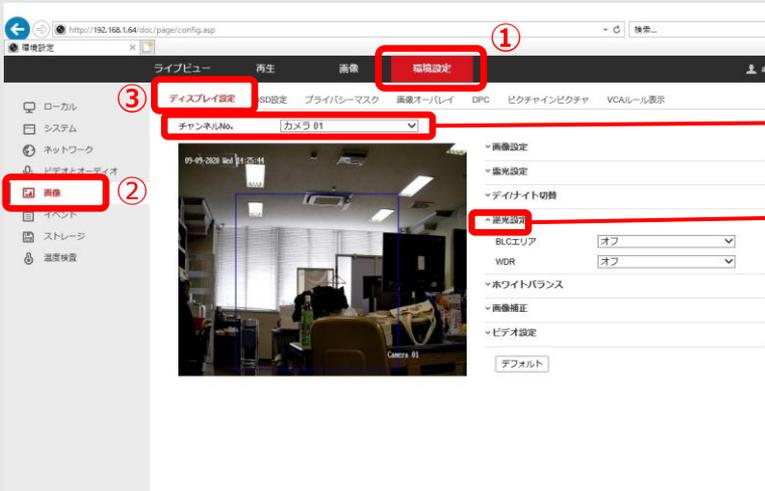
を切り替えられます。

設定後は必ず「保存」して下さい。

# 詳細設定

## ディスプレイ逆光設定

◇画面操作手順：①環境設定 → ②画像 → ③ディスプレイ設定



チャンネルNO選択：カメラ01  
※カメラ02の逆光設定不可

逆光設定を選択し、  
WDRをオンに変更



※変更後の設定は自動保存され、  
映像に逆行補正がかかります。

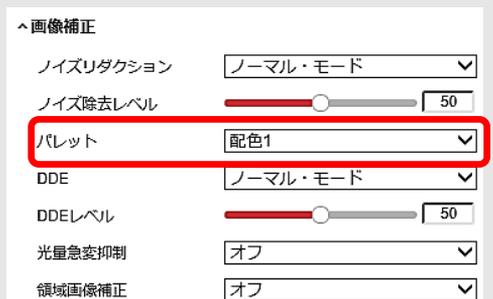
## サーモグラフィ画像の配色設定

◇画面操作手順：①環境設定 → ②画像 → ③ディスプレイ設定



チャンネルNO選択：カメラ02  
※カメラ02の逆光設定不可

画像補正を選択し、  
パレットを配色1に変更



パレットの「配色1」は推奨設定です。  
お好みに合わせて他の配色もお選びいただけます。

※変更後の設定は自動保存され、  
映像に逆行補正がかかります。

## VCAルール表示の設定

画面操作手順：①環境設定 → ②画像 → ③VCAルール表示



温度表示の文字の大きさを変更可能

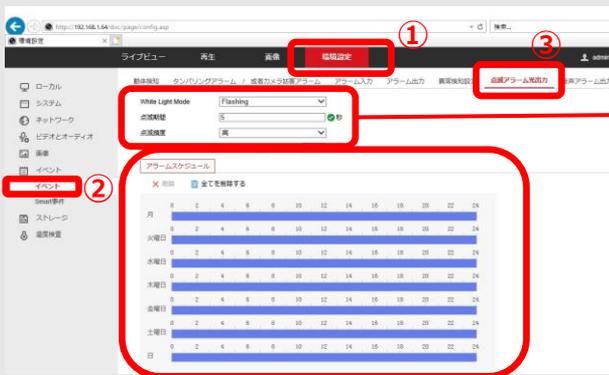
温度表示の文字の色を変更可能

設定後は必ず「保存」して下さい。

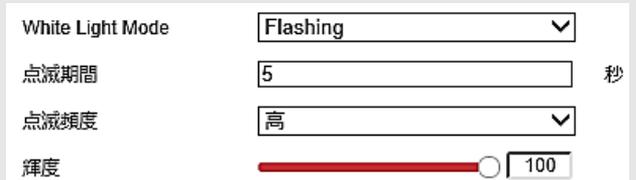


## 点滅アラーム光出力の設定

画面操作手順：①環境設定 → ②イベント → ③点滅アラーム光出力



《拡大》



上記項目を任意で設定可能

※上記設定の場合、アラーム設定温度以上を検知時にカメラが点滅発光（Flashing）を5秒間繰り返します。

《拡大》



設定した機能の発動時間帯を設定。設定範囲外の時間帯は、カメラ起動中でも、設定した機能は発動しません。

※カメラ起動時は常に発動させたい場合は、下図のように24時間設定して下さい。

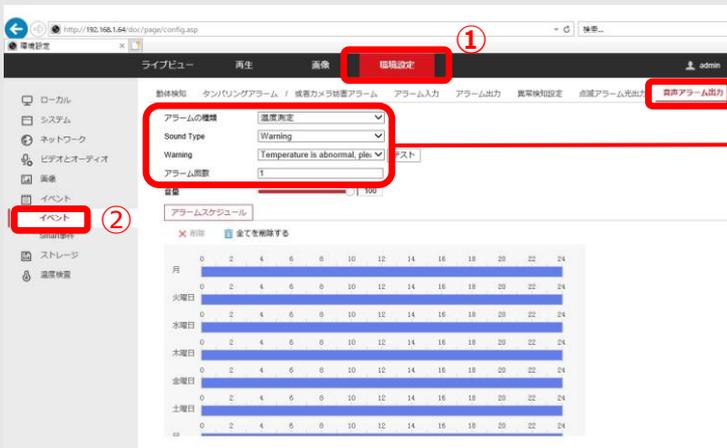


設定後は必ず「保存」して下さい。

# 詳細設定

## 音声アラームの設定

◆画面操作手順：①環境設定 → ②イベント → ③音声アラーム出力



上記項目を任意で設定可能

※上記設定の場合、アラーム設定温度以上を検知時にカメラから1回、音声警告（英語）を發します。

設定後は必ず「保存」して下さい。

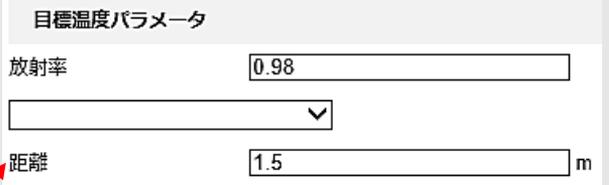
- ・ 音声アラームのボリューム調整は、上記の【音量】ゲージで調整してください。
- ・ 音声アラームを發するのはカメラのみです。

## 測定距離の設定

◆画面操作手順：①環境設定 → ②温度検査 → ③基本設定 → ④基本設定



《拡大》



上記の設定を基本設定として下さい。

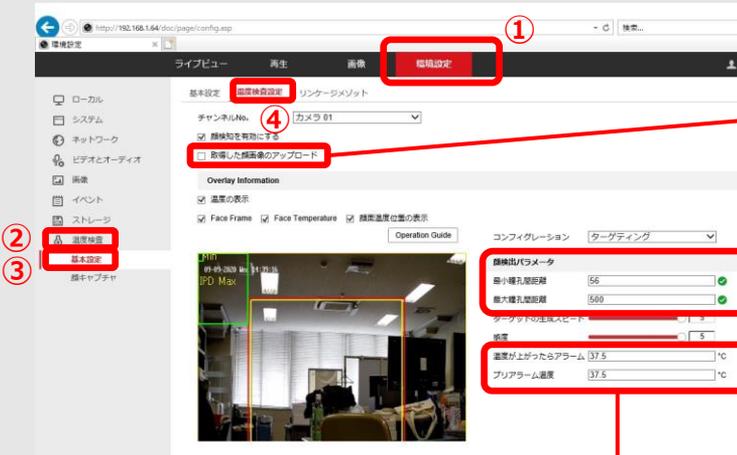
- 放射率：0.98で固定  
※人体の放射率標準値
- 距離：1.5m（1.0～1.5mが推奨値）  
※測定距離の半分の数値で設定してください。

設定後は必ず「保存」して下さい。

# 詳細設定

## 測定距離・アラーム温度の設定

◇画面操作手順：①環境設定 → ②温度検査 → ③基本設定 → ④温度検査設定



《拡大》

取得した顔画像のアップロード

上記項目のみチェックが外れていることを確認

《拡大》

顔検出パラメータ

最小瞳孔間距離

最大瞳孔間距離

上記項目の数値に合わせて左の映像の左上に緑色の四角を描きます。映像に映る人の顔の大きさがこの緑枠の範囲内であれば温度測定対象となります。

注) 映像に映る人の顔が緑の四角より小さい(遠すぎる) 緑の四角より大きい(近すぎる) 上記の場合には、測定対象にならないので、温度表示されません。

設定後は必ず「保存」して下さい。

《拡大》

温度が上がったらアラーム  °C

プリアラーム温度  °C

《温度が上がったらアラーム》

音声や発光のアラームを発動させる温度

《プリアラーム温度》

映像上で通常温度と区別して表示

設定時には温度を低めに設定して、音声アラート等の動作をご確認下さい。



【補足】

映像内の青い四角形内が測定範囲です。左端の方は顔が青い四角の外にあるため、測定されません。



【補足】

青い枠内の範囲は、通常映像、赤外線映像、共に同じです。赤外線側は拡大表示されます。

※青い四角形のサイズ変更はできません。

# 詳細設定

## 測定距離・アラーム温度の設定

- ◇画面操作手順：①環境設定 → ②温度検査 → ③リンゲージメゾット  
→ ④リンゲージメゾット



《拡大》

- 点滅アラーム
- 警告音

上記項目にチェックを入れて、点滅アラーム、音声アラームの設定を有効化して下さい。

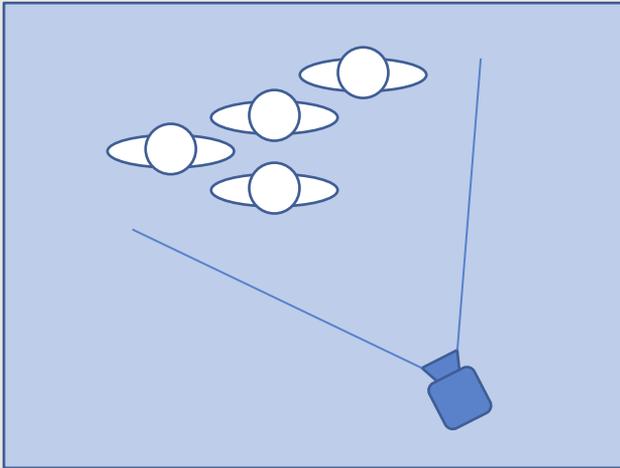
設定後は必ず「保存」して下さい。

## 設置位置について

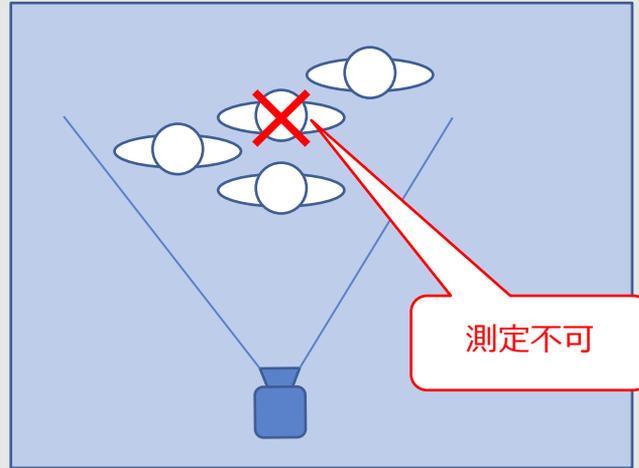
### ①カメラ配置

測定する場所の正面から若干角度をつけて設置してください。

※真正面の場合、広報の人が前の人に隠れて測定できない可能性があります。



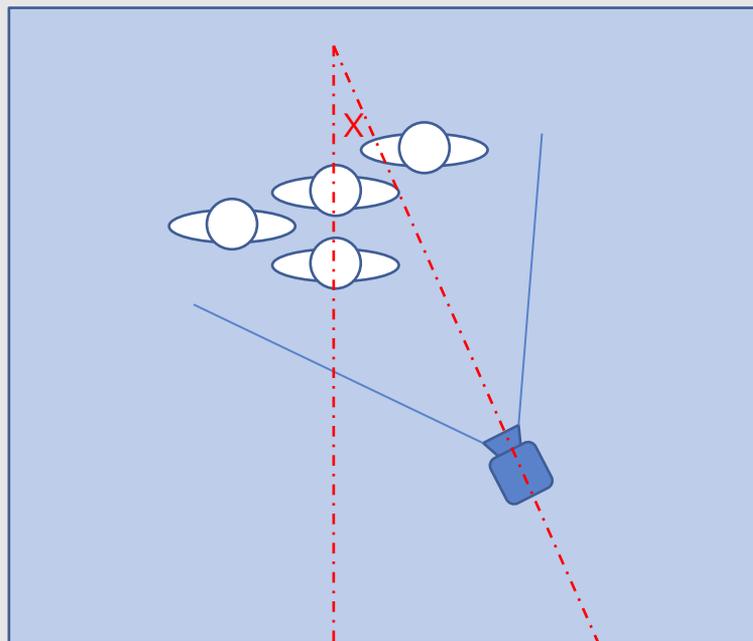
**OK**



**NG**

### ①カメラ角度

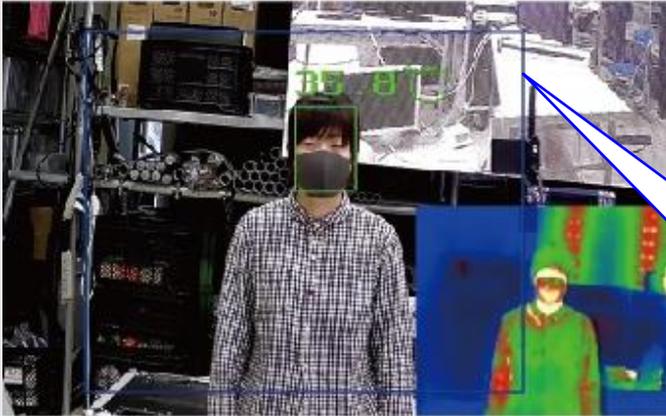
下図の角度Xが30度以内になるように設置してください。



# 設置位置について

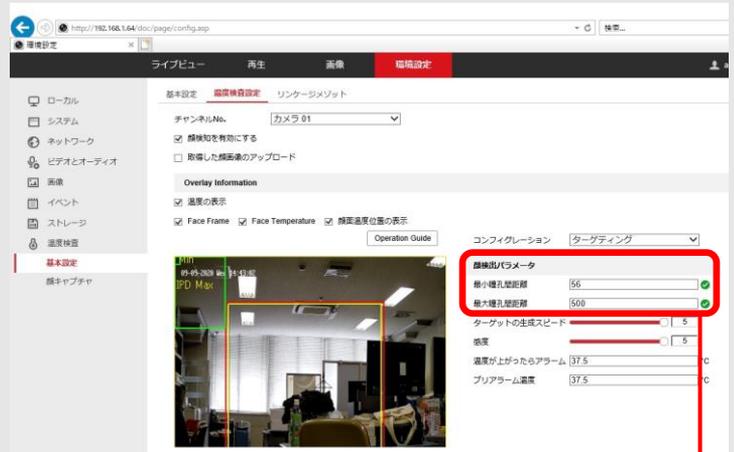
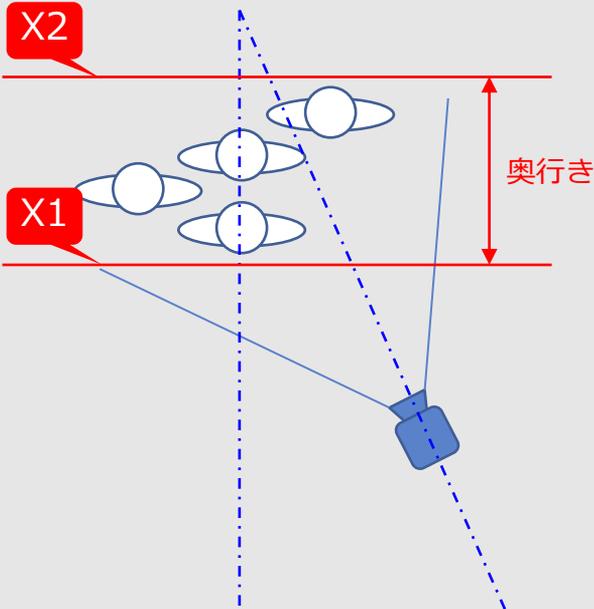
## ③測定範囲

映像の青枠内が測定可能範囲です。  
測定したい場所が青枠内に収まるように設置してください。



青枠の大きさや位置は変更できません。

## ④奥行範囲



設定手順はP13をご確認下さい

### 顔検出パラメータ

最小瞳孔間距離

56

最大瞳孔間距離

500

X2：数値が小さいほど遠くまで測定課可能

X1：数値が大きいほど近くまで測定課可能

## ご注意

---

**「サーモグラフィ」は物体の温度分布を表示する装置です。**

**医療器具ではありません。**

- ・被写体がウィルスに感染しているかどうか判断する機器ではありません。
- ・測定しているのは「表面温度分布」なので、体温計ではありません。
- ・着衣部の体表温分布は測定できない為、帽子等外した状態での検査を推奨します。  
※体表面温度は計測時・計測前の環境条件、被測定者の状態等で変動いたします。
- ・サーマルカメラは、使用場所の環境に大きく影響を受けます。そのため、使用する場所は極力、周辺温度が一定で、風のない環境の安定した屋内として下さい。
- ・体温面温度を測定するため、カメラが確実にお青を撮影できる場所、一方通行の場所に設置して下さい。（後頭部や後ろ姿では測定できません）
- ・人の多すぎる場所、明るすぎる場所を避けてください。
- ・測定を行う30分前にはカメラ電源をONにして下さい。安定した測定にはサーマルカメラを予熱する必要があります。
- ・屋外と屋内で大きな温度差がある場合、対象人物が屋内に入ってから5分以上経過してから測定すると精度が向上します。
- ・測定は推奨する距離、高さで行ってください。推奨範囲を外れると誤差が大きくなります。

